



公共交通を利用して地球温暖化を防止しよう

問い合わせ 市地域公共交通活性化協議会(自治振興課内) ☎ 2142



博士



きょう子ちゃん



かん太くん

登場人物

きょう子
ねえ、博士！最近、テレビで集中豪雨などのニュースをよく見るよね。

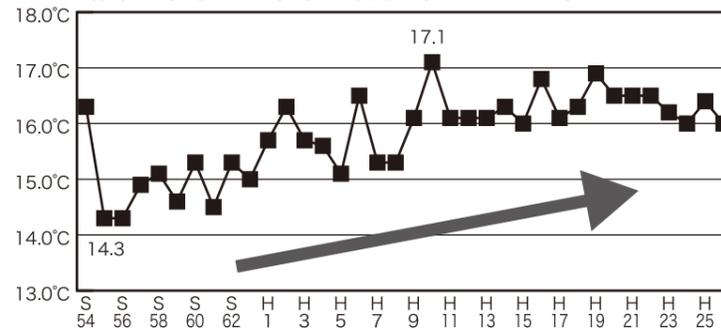
博士
そうじゃな。原因は地球温暖化じゃないかと言われているんじゃないよ。

かん太
地球が暖かくなって、何か悪いことがあるの？

博士
気温が上昇するだけではなく、異常高温(熱波)や大雨、干ばつの増加など、気候が変わってしまつて言われておるんじゃない。

きょう子
どれくらい温度が上がっているの？

大竹市の平均気温(°C)の推移(S54~H26)(気象庁資料より)



博士
大竹市の場合、年間の平均気温は、昭和50年代は15度前後で推移しておつたんじやが、それ以降は上昇傾向で、平成9年以降は16度以上なんじやよ。

かん太
なんだ。1度なら、あまり影響がないんじゃないの？

博士
たった1度でも、我々の生活に悪い影響を与える可能性があるんじゃないよ。

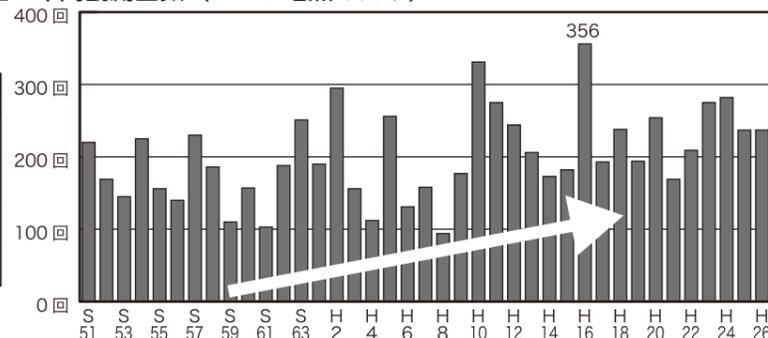
きょう子
どんな影響が考えられるの？

博士
野菜などの農作物への影響や蚊などが媒介する熱帯性の感染症の侵入などが考えられておるんじやが、一番身近なのは大雨などの異常気象が増えることかの。

かん太
大雨は嫌だなあ。

博士
1時間に50mm以上の雨が降ることを「短時間強雨」と言うんじやが、全国の(※)アメダスで短時間強雨を観測した回数を見ると、昭和51年から60年までの10年間の平均は173.8回、昭和61年から平成7年までの10年間の平均は184.0回、平成8年から17年までの10年間の平均は223.1回、平成18年から26年までの9年間の平均は232.8回と、年々増加しておるんじやよ。

1時間降水量50mm以上の年間観測回数(1000地点あたり)



かん太
1時間に50mmの雨って、どれくらいの雨なの？

博士
去年の8月6日の大雨を覚えてるかの？あの時の雨量が1時間に67mmなんじや。それよりは少し弱いけど、滝のように降る非常に激しい雨なんじやよ。

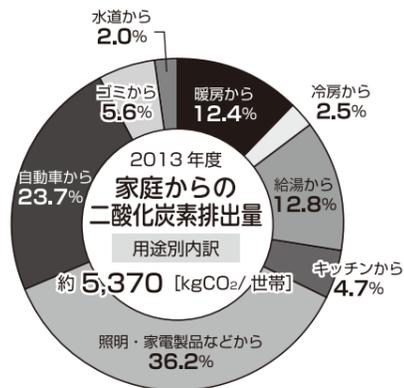
※ アメダス・日本国内約1,300カ所の気象観測所で構成される気象庁の無人観測施設である「地域気象観測システム」のこと。

きょう子
あのとときは雨の音が大きくて怖かったわ。

かん太
朝早かったけど、雨の音で目が覚めたよ。

博士
そのほかにも、海面の上昇や自然・生態系への影響、災害の多発などが考えられておるんじや。我々一人一人が地球温暖化の問題を考えることが大事なんじや。

きょう子
例えば、どんなことをしたらいいの？



(出典: 温室効果ガスインベントリオフィス 全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (http://www.jccca.org/))

博士
二酸化炭素などの地球温暖化ガスを少しでも減らすことが必要なんじや。例えば、家庭からの二酸化炭素排出量を見ると、自動車からの排出量が全体の約24%を占めておるんじや。

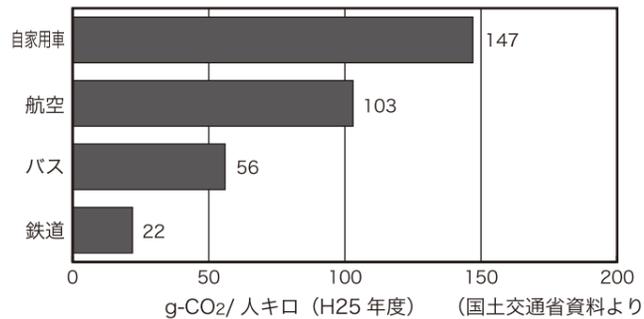
きょう子
家電製品の次に多いのね。

博士
お父さん、お母さんと買い物に行くときは、何に乗って買い物に行くことが多いか？

きょう子
車に乗って行くことがほとんどだわ。

博士
一人の人が1km移動するときの交通手段別の二酸化炭素排出量は、バスや電車に比べて自家用車が一番多くなっておるんじや。バスなどの公共交通は輸送効率が良いため、二酸化炭素の排出量が少なく、地球温暖化防止に大きく貢献できるんじや。

輸送量当たりの二酸化炭素の排出量(旅客)



きょう子
そうなんだ。バスに乗って買い物に行くと、地球温暖化防止に貢献できるのね。

博士
君たちの将来の地球環境を守るためにも、できる範囲で公共交通を利用してみてはどうかの？

きょう子
わかったわ。

かん太
僕、バス大好き。

二酸化炭素排出量をチェックしてみよう！

皆さんが通勤や買い物など自家用車を利用してその場所に行く場合と、その場所にバスや鉄道で行けるとした場合の二酸化炭素排出量はどうか？

実際に距離を測って、交通機関別に計算して、チェックしてみよう！

自宅から会社までの距離 km × 交通機関別二酸化炭素排出量 g-CO₂/人・km = 二酸化炭素排出量 g-CO₂/人

例えば

自家用車の場合 km × 147g-CO₂/人・km = g-CO₂/人

バスの場合 km × 56g-CO₂/人・km = g-CO₂/人

鉄道の場合 km × 22g-CO₂/人・km = g-CO₂/人

例: 5kmの距離を移動する場合

自家用車: 5km × 147g = 735g ⇒ 500mlのペットボトル約735本分

バス: 5km × 56g = 280g ⇒ 500mlのペットボトル約280本分

鉄道: 5km × 22g = 110g ⇒ 500mlのペットボトル約110本分

※ 二酸化炭素(CO₂) 1gは約500mlで、500mlのペットボトルの約1本分です。計算した二酸化炭素排出量の数値が、500mlサイズのペットボトルの本数に該当します。



バスだと280本分なのに、自家用車だと735本分にもなるんだね。

自家用車はバスの約2.6倍の二酸化炭素を排出しているのね。

